

校訓「文武不岐」  
高朋高等学校だより  
令和4年度1月号

発行者 高朋高等学校  
住所 富山市東富山寿町 1-1-39  
TEL (076) 437-9940  
e-mail koho@koho.ac.jp

### 年賀状に思う

新年 あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

元日の朝、新年恒例の年賀状が配達されました。自分に届く年賀状は、普段、あまり顔を合わせない人からのものがほとんどで、年賀状のやり取りだけで繋がっているという人も少なくありません。下手をすると大学卒業以来会っていない同級生もいます。互いに元気であることや近況が分かることに、年賀状をやり取りした意味があるのかもしれません。

これらの中に、2歳年上のある先輩からの年賀状があります。この人とは3年ほど会ったことがないので、それほど疎遠というわけではありません。この人の年賀状には、毎年必ず、現在の自分の写真に加えて、10年前、50年前、100年前の世相や話題に関する写真が載せられています。ちなみに、今年の年賀状には、10年前は「滝川クリステルさんの『お・も・て・な・し』がブームとなる。」、50年前は「アース製菓がごきぶりホイホイを開発。発売と同時にブームとなる。」、100年前は「ツタンカーメンの墓の発掘開始に伴い、エジプトブームとなる。」と載せてありました。私は毎年、この人からの年賀状が楽しみで、「これは100年前のことだったんだ」「もうそんなに経ったのかー」などと思いつながらいつも見ていました。これに比べて、私が出す年賀状ときたら、いつも年末ぎりぎりに作るものですから、インターネットなどから無料のデザインデータをいただいて急いで作るというお粗末なものです。これでは相手に申し訳ないので、手書きで「お元気ですか。ご無沙汰しています。」と一言、書き添えるのが精一杯です。今年などは、それさえも省いてしまいました。

先輩の年賀状の最後に、「時代の移り変わりもあり、本年をもち年始のご挨拶を控えさせていただくことにいたしました。非礼をお詫びいたします。」と書かれていました。これを見たとき、大変寂しい気持ちになりました。

この先輩以外にも、定年退職や高齢となったことを機に、年賀状を出すことをやめるという人が、ここ数年、何人も出てきています。寂しい限りですが、同年代の者としてその気持ちもよく分かります。私も1年後にはそうしているかもしれません。けれども、今後、歳をとって年に一度の年賀状の交換さえもしなくなり、旧知の人たちとますます疎遠になっていくというのは、とても寂しい老後です。高齢者も若者たちのように、日常から、メールやSNSなどで、互いの情報交換をしていく時代なのかもしれません。



副校長 藤井 克弘

## どんな1年にしたい？ 1年の目標を立てよう ～全校集会～

冬休みが終了して迎えた1月10日（火）に全校集会を行いました。

はじめに、コンピュータサービス技能評価試験表計算部門の合格者（2年C組・佐々木滉輝さん）の披露を行い、塩莉校長が合格証を渡しました。

引き続き、校長が新年にあたっての講話を行いました。校長から生徒への「今年1年はどんな年にしたいか？」との問いかけに、各学年の生徒1名が次のように答えました。

「受験に向けて、今から学習をしていきたい」（1年B組・高山七海さん）

「甲子園出場を目指して、チームで頑張っていきたい」（2年A組・森本一平さん）

「遅刻や欠席をしないで、卒業したい」（3年A組・大山アリサさん）

校長は「全校生徒の皆さんそれぞれが、自分の思いを1年間忘れず、時々振り返って、自己評価して、目標に近づくように頑張ってください。」と激励しました。

最後に校長は「私も新年を迎えたとき、今年1年の目標を立てました。自分自身が健康で、この学校で一緒に生活している生徒・教職員のみみんなと元気に1年を過ごしたいと思えます。今年1年が良い年になるよう、一日一日を大切に過ごしていきましょう。」と話しました。



【合格証の授与】



【校長の講話】

### 今年1年の目標

- ①心身ともに健康でいること
- ②「活力とありがとう」にあふれる「学校」「生徒」にしたい
- ③「挨拶日本一」の学校を目指す

### 【1月～3月の主な行事予定】

1月19日(木)～24日(火)	3年生学年末考査	2月28日(火)	卒業式予行
1月25日(水)	3年生 特別授業開始	3月1日(水)	第43回卒業式
2月2日(木)	本校一般入試(生徒は自宅学習)	3月20日(月)	終業式
2月9日(木)～14日(火)	1, 2年生学年末考査		